

福岡大学病院 形成外科 卒後臨床研修プログラム

I. 特徴

形成外科とは、身体に生じた組織の異常・変形・欠損あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、患者のQOL向上を目的とする外科系の専門領域である。

頭部・顔面・体幹・四肢の各種体表先天異常、頭頸部癌切除後の再建、乳癌切除後の乳房再建、顔面骨骨折を含めたさまざまな体表外傷、褥瘡や糖尿病性足潰瘍などの慢性創傷、各種母斑に対するレーザー治療、外傷・手術後の瘢痕や変形、そして抗加齢形成・美容医療、と扱う疾患は実に多岐にわたる。最近ではリンパ浮腫や顔面神経麻痺の治療にも力を入れている。

研修で学んで欲しいことは大きく2つある。ひとつは、形成外科医がどのような技術を持ち、どのような治療を得意とし、それによって患者のQOLはどのように変わるのかを、まずは知識として知ること。もうひとつは、急性・慢性を含め体表のキズに対する形成外科医の考え方を知り、もっとも基本的なところである「擦過傷・挫裂創・切創・熱傷といった急性体表外傷の評価・洗浄・デブリードマン、形成外科的縫合、その後の創管理」を習得すること。この2つは、将来的にどの科へ進むとしても必ず（外科系に進むならなおさら）役立つものと考えており、そのもとに本プログラムは作成されている。そして、積極的にさらに意欲の高い者にはより深く形成外科診療に関わってもらおう。

II. 診療科概要

形成外科は病床数18床で、指導医（学会等の定める指導医および専門医）は6名、専門医を目指す専攻医は7名である。2020年の年間の新患数971名（実数）、入院患者数556名（実数）であった。総手術件数は1688件で、内容は外傷180件、先天異常201件、良性腫瘍344件、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド54件、褥瘡・難治性腫瘍81件、炎症・変性疾患39件、美容外科6件、レーザー治療・その他783件であった。

スタッフは、高木誠司診療教授・診療部長（頭蓋顎顔面外科、小児形成外科、乳房再建、胸郭変形、顔面神経麻痺）、西建剛助教（頭蓋顎顔面外科、熱傷、小児形成外科）、森田愛助教（乳房再建、眼瞼下垂）、岡本理沙助教（乳房再建）、鈴木翔太郎助教（頭蓋顎顔面外科、フットケア）で構成されている。

III. 研修目標

日常診療で必要となる形成外科の基本的な知識と技術を身に付ける。また、社会のニーズにあった医療の現状と将来を認識する。

IV. 研修内容

指導医のもとで毎週数人の入院患者を受け持ち、手術にも参加して形成外科患者に関する診療技術と知識を学ぶ。

- (1) オリエンテーション：初日の月曜日、朝8時に形成外科医局カンファレンスルームに集合する。研修初日の午前中に、院内諸規定、施設設備の概要と利用法などを説明し、指導医の紹介を行う。
- (2) 研修期間は1-6か月であり、その期間に応じて適切なプログラムを組む。
- (3) 毎朝、入院患者の状態報告、手術前・手術後報告（Morning Conference）を行う。研修医は上級医の指導の下、術前・術後のプレゼンテーションを行う。また、カンファレンス前に当日の患者の状態を把握し、問題があれば報告、検討する。

- (4) 毎週火曜日・木曜日・金曜日は定時手術があり、担当患者の手術に参加して、形成外科手術の基本手技を取得する。
- (5) 毎週水曜日（17:30～）は症例検討会があり、翌週予定分の手術症例に関して担当医が治療方針・手術方針を発表する。また、問題症例や教育症例について詳細に検討する。

V. 週間スケジュール

	8：15-9：00(月：8:00-, 水8:30-)	9：00- 12:00	13：00- 18:00	17：30-
月	Morning Conference 週間スケジュール確認 医局会議	病棟医長回診	病棟・外来研修	
火	Morning Conference	手術		
水	Morning Conference	病棟・外来研修		症例検討会
木	Morning Conference	手術 または病棟・外来研修		
金	Morning Conference	手術		

VI. 当科の医療安全等に係る研修医教育

- (1) 医療安全 ～正しい包交手順や、手術室における清潔・不潔の概念など
- (2) 各種表面創傷に対する正確な評価とその管理法について
～挫傷・切創から難治性潰瘍・褥瘡まで
- (3) 人体形態学 ～解剖学と美学の両面から
- (4) 手術患者の術前診察・手術・周術期管理
- (5) 形成外科の基本的な手技（切開、縫合、植皮など）の修得
- (6) カンファレンスへの参加・発表を通して多彩な形成外科疾患について知識を広める。
- (7) レーザー治療への見識を深める

※ いずれの場合においても、研修医が単独で診察・処置をすることがないように、指導医の管理のもとで行動してもらおう。逆に、指導医管理のもとであれば研修医の自発的積極的診療参加は制限しない。

Ⅶ. 研修プログラム責任者

形成外科診療教授・診療部長・准教授：高木 誠司

(副責任者：西 建剛)

Ⅷ. 指導医一覧

氏 名	認 定 医 など
高木 誠司	日本専門医機構 形成外科領域指導医 日本形成外科学会専門医 日本形成外科学会 小児形成外科 分野指導医 日本形成外科学会 再建・マイクロサージャリー 分野指導医 日本創傷外科学会専門医 日本頭蓋顎顔面外科学会専門医 日本手外科学会専門医 日本美容外科学会専門医 (JSAPS) 身体障害者福祉法 15 条指定医 (肢体不自由)
西 建剛	日本専門医機構 形成外科領域指導医 日本形成外科学会専門医 日本形成外科学会 小児形成外科 分野指導医 熱傷専門医 日本医師会認定 産業医 身体障害者福祉法 15 条指定医 (肢体不自由)
森田 愛	日本形成外科学会専門医 身体障害者福祉法 15 条指定医 (肢体不自由)
岡本 理沙	日本形成外科学会専門医
鈴木 翔太郎	日本形成外科学会専門医